

# 茨城調査時報



## 目 次

人口世帯異動調査結果速報	1
労働統計調査結果速報	3
動態調査	7
町村の横顔	13
31年工業統計調査の概況(1)	15
統計用語の解説・編集室	30

1957.8

# 毎月人口世帯異

## 1. 世帯異動状況

	前月末	増 加				減 少				本 月 末
		転 入		その他	計	転 出		その他	計	
		県外から	県内から			県外へ	県内へ			
世 帯 数	386,627	313	596	◎ 526 192	1,627	242	420	◎ 526 22	1,210	387,044
前月との増減比	—	119.9	107.5	156.0	117.3	106.6	99.7	73.3	100.8	100.8

前月=100

## 2. 人口異動状況

	前月末	増 加					減 少					本 月 末
		出 生	転 入		その他	計	死 亡	転 出		その他	計	
			県外から	県内から				県外へ	県内へ			
男	1,009,995	1,593	1,707	2,148	◎1,514 401	7,363	685	2,253	2,088	◎1,514 81	6,621	1,010,737
女	1,066,347	1,479	1,343	2,145	◎1,584 212	6,763	661	1,718	2,112	◎1,584 8	6,083	1,067,027
計	2,076,342	3,072	3,050	4,293	◎3,098 613	14,126	1,346	3,971	4,200	◎3,098 89	12,704	2,077,764
前月との増減比	—	105.3	114.1	94.5	48.6	107.5	113.0	98.6	99.4	78.7	100.6	100.6

前月=100

## 3. 県外からの転入者内訳

従前の居住地	転入者数	割合
東京都	1,211	39.7
埼玉県	99	3.3
神奈川県	168	5.5
千葉県	197	6.5
栃木県	193	6.3
群馬県	50	1.6
福島県	378	12.4
その他の府県	754	24.7
合 計	3,050	100%

## 4. 県外転出者の内訳

転出先の居住地	転出者数	割合
東京都	2,423	61.0
埼玉県	148	3.7
神奈川県	314	7.9
千葉県	283	7.1
栃木県	136	3.4
群馬県	29	0.8
福島県	196	5.0
その他の府県	442	11.1
合 計	3,971	100%

## 5. 市町村別世帯数及び人口 (月末現在)

市町村名	世帯数	人口	市町村名	世帯数	人口	市町村名	世帯数	人口
市 部 計	163,584	815,089				郡 部 計	223,460	1,262,577
水戸市	25,977	120,455	珂珂湊市	6,872	33,525	東茨城郡	27,606	149,777
日立市	29,328	142,716	下妻市	5,585	31,930	常澄村	1,748	10,427
土浦市	15,914	72,244	水海道市	7,268	39,664	石崎村	1,084	6,127
古河市	8,427	40,991	常陸太田市	7,694	39,472	赤塚村	1,906	10,004
石岡市	7,271	36,534	勝田市	7,406	37,669	茨城町	4,456	25,416
下館市	9,646	52,661	高萩市	6,761	32,376	小川町	2,976	16,427
結城市	6,939	39,564	北茨城市	11,868	61,223	美野里村	2,712	15,337
竜ヶ崎	6,628	34,065				内原村	2,264	13,337

動 調 查 結 果 速 報

(昭和32年7月分)

市町村名	世帯数	人 口	市町村名	世帯数	人 口	市町村名	世帯数	人 口
北 町	2,380	12,579	大 野 村	1,816	11,268	谷 和 原 村	2,007	11,554
前 山 村	1,903	9,671	鹿 島 町	2,783	16,261	豊 里 町	2,120	12,159
大 洗 町	4,706	22,239	神 栖 村	2,864	17,044	筑 波 町	4,764	26,075
			波 崎 町	4,310	24,853	大 穂 町	2,196	12,338
茨 城 郡	17,410	96,160	行 方 郡	13,031	74,937	真 壁 郡	13,855	81,306
生 間 町	4,904	25,992	麻 生 町	3,602	21,250	関 城 町	2,619	15,670
立 部 町	3,454	19,389	牛 堀 町	1,226	7,131	明 野 町	3,080	18,577
七 会 村	748	4,338	潮 来 町	3,173	17,869	大 和 村	1,422	8,699
田 町	1,419	7,665	北 浦 村	2,180	12,998	真 壁 町	4,215	23,327
類 町	4,381	24,307	玉 造 町	2,850	15,689	協 和 村	2,519	15,033
			稲 敷 郡	20,819	115,037			
河 郡	19,713	107,980	江 戸 崎 町	2,520	13,511	結 城 郡	9,373	56,471
海 村	1,873	11,814	美 浦 村	1,724	9,826	八 千 代 村	4,209	26,200
河 町	5,824	31,161	阿 見 町	4,165	21,775	千 代 川 村	1,620	9,277
連 町	1,417	7,256	茎 崎 村	1,071	6,483	石 下 町	3,544	20,994
宮 町	4,871	25,994	牛 久 町	2,989	15,957			
方 町	2,600	13,998	新 利 根 村	1,821	9,934			
和 村	1,551	9,017	大 須 賀 村	627	3,680	猿 島 郡	20,464	126,087
川 村	1,577	8,740	桜 川 村	1,672	9,304	総 和 村	3,271	20,730
			河 内 村	1,475	8,756	五 霞 村	1,515	9,907
			金 江 津 村	903	5,193	三 和 村	3,223	20,583
久 慈 郡	14,478	79,356	東 村	1,852	10,618	猿 島 町	2,504	15,900
金 砂 郷 村	2,827	15,783				岩 井 町	5,891	35,280
水 府 村	2,332	12,317	新 治 郡	15,815	89,085	境 町	4,060	23,687
里 美 村	1,458	8,249	出 島 村	3,511	19,669			
大 子 町	7,861	43,007	玉 里 村	972	5,492	北 相 馬 郡	10,588	56,443
			八 郷 町	5,738	33,070	守 谷 町	2,158	12,048
多 賀 郡	2,200	11,046	千 代 田 村	2,088	12,178	取 手 町	4,353	21,705
十 王 町	2,200	11,046	新 治 村	1,680	9,093	藤 代 町	2,332	12,972
			桜 村	1,826	9,583	利 根 町	1,745	9,718
鹿 島 郡	20,913	122,205	筑 波 郡	17,195	96,786			
尾 村	1,984	12,126	谷 田 部 町	3,963	22,014			
津 田 町	5,280	29,793	伊 奈 村	2,145	12,646			
大 洋 村	1,876	10,860						

# 毎月勤労統計調査結果速報

(昭和32年5月分)

労働省大官官房労働統計調査部

茨 城 県

## — 結果の概況 —

### 1. 定期的給与は増加

本月の現金給与総額は15,764円で前月に較べて601円の減少である。この減少は「特別に支払われた給与」の減少が主因である。即ち「きまつて支給する給与」は前月に比して433円の増加であつて、時間外手当などの支

給増によつて各産業とも増加した。「特別に支払われた給与」は1,034円の減少であつて特に鉱業は3,447円、電気機械器具製造業は1,235円の急減である。これはベース・アップの差額などの支給打切りによるものである。これを表示すると次のとおりである。

産業別常用労働者1人平均月間現金給与額

産 業 別	現金給与額	対前月差
総 数	15,764	- 601
D 鉱 業	16,662	- 2,528
F 製 造 業	14,617	- 321
20 食 料 品 製 造 業	12,895	- 593
22 紡 織 業	6,399	- 542
35 機 械 製 造 業	12,991	- 897
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	15,717	- 498
G 卸 売 及 び 小 売 業	13,089	- 92
H 金 融 及 び 保 険 業	21,130	- 833
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	18,037	+ 101
E 建 設 業	10,346	- 234
K88 医 療 保 健 業	14,409	- 700

### 2. 労働時間は減少

5月の常用労働者1人平均総実労働時間数は総数で196.0時間であるから前月より8.1時間の減少したことになる。

所定内労働時間数は174.1時間であるから8.5時間の減少である。これと反対に所定外労働時間数は21.9時間で0.4時間の増加である。

### 3. 電気機械器具製造業は本月も労働異動が活発

本月末全産業推計労働者数は75,592人で前月に較べて513人の増加である。労働異動の最も活発であつたのは電気機械器具製造業で入職者998人、退職者825人である。この大量の異動は本年初頭から引続いている。これに較べると比較的低賃金の臨時工員の異動であることに注目しなければならない。

第1表 産業、常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額  
(規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われ た 給 与			臨時及び日雇 労働者の1人 平均現金給与 額
	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総数	男子	女子	
<b>全 常 用 勞 働 者</b>										
数	15,764	17,699	7,497	15,618	17,536	7,424	146	163	73	288
D 鉱 業	16,662	17,621	6,573	16,619	17,575	6,554	43	46	15	319
F 製 造 業	14,617	16,902	6,539	14,492	16,755	6,492	125	147	47	270
20 食料品製造業	12,895	15,793	5,408	12,895	15,793	5,408	—	—	—	280
22 紡 織 業	6,399	15,359	5,300	6,399	15,359	5,300	—	—	—	193
35 機 械 製 造 業	12,991	14,645	6,332	12,870	14,498	6,316	121	147	16	321
36 電気機械器具製造業	15,717	17,353	7,192	15,518	17,137	7,084	199	216	108	426
G 卸売及び小売業	13,089	15,568	6,474	13,083	15,564	6,464	6	4	10	302
H 金融及び保健業	21,130	26,187	11,709	20,741	25,714	11,477	389	473	232	—
J 運輸通信業及び その他の公益事業	18,037	19,109	10,936	17,760	18,817	10,757	277	292	179	279
E 建 設 業	10,346	11,011	5,784	10,263	10,922	5,743	83	89	41	385
K33 医療保健業	14,409	20,721	10,294	14,409	20,721	10,294	—	—	—	261
<b>生 産 勞 働 者</b>										
D 鉱 業	16,645	17,419	6,081	16,628	17,402	6,064	17	17	17	—
F 製 造 業	12,189	14,053	5,961	12,102	13,952	5,924	87	101	37	—
20 食料品製造業	11,005	13,623	4,962	11,005	13,623	4,962	—	—	—	—
22 紡 織 業	5,429	11,024	5,164	5,429	11,024	5,164	—	—	—	—
35 機 械 製 造 業	11,832	13,176	5,904	11,698	13,013	5,896	134	163	8	—
36 電気機械器具製造業	12,898	14,062	6,532	12,760	13,917	6,435	138	145	97	—
E 建 設 業	8,080	8,614	4,464	8,069	8,606	4,437	11	8	27	—
<b>管理事務及び技術労働者</b>										
D 鉱 業	16,769	19,053	7,598	16,565	18,802	7,585	204	251	13	—
F 製 造 業	21,132	24,198	8,384	20,904	23,935	8,303	228	263	81	—
20 食料品製造業	17,387	20,430	6,837	17,387	20,430	6,837	—	—	—	—
22 紡 織 業	13,523	7,530	18,007	13,523	18,007	7,530	—	—	—	—
35 機 械 製 造 業	16,705	19,722	7,369	16,627	19,630	7,336	78	92	33	—
36 電気機械器具製造業	22,146	25,053	8,517	21,808	24,671	8,386	338	382	131	—
E 建 設 業	14,181	15,047	8,096	13,976	14,822	8,031	205	225	65	—

第2表 産業、常用労働者の種類別及び性別 1人平均月間実労働時間数及び出勤日数(規模30人以上)  
(単位、時間、日)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総 数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全 常 用 勞 働 者 総 数	196.0	199.3	181.9	174.1	174.1	174.0	21.9	25.2	7.9	23.3	23.4	23.0
D 鉱 業	199.0	200.3	185.0	174.4	174.1	177.2	24.6	26.2	7.8	23.9	23.8	24.7
F 製 造 業	198.6	204.1	179.3	170.6	170.5	171.0	28.0	33.6	8.3	22.8	22.9	22.3
20 食 料 品 製 造 業	187.8	192.1	176.8	169.4	169.2	170.0	18.4	22.9	6.8	23.5	24.0	22.4
22 紡 織 業	180.4	204.4	177.5	178.2	188.7	176.9	2.2	15.7	0.6	22.3	23.5	22.1
35 機 械 製 造 業	201.2	205.8	182.3	175.7	175.5	176.3	25.5	30.3	6.0	23.0	23.3	22.2
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	198.4	202.3	178.1	167.6	168.0	165.6	30.8	34.3	12.5	22.4	22.5	22.1
G 卸 売 及 び 小 売 業	201.5	199.3	207.7	189.0	185.0	199.9	12.5	14.3	7.8	25.3	25.3	25.4
H 金 融 及 び 保 險 業	171.1	171.7	169.9	163.5	164.3	162.0	7.6	7.4	7.9	23.6	23.7	23.5
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	189.5	190.6	181.7	180.4	181.1	175.2	9.1	9.5	6.5	23.6	23.6	23.3
E 建 設 業	190.8	191.7	185.2	181.2	181.5	179.8	9.6	10.2	5.4	23.8	23.9	23.2
K88 医 療 保 險 業	207.4	208.5	206.6	192.0	192.0	192.0	15.4	16.5	14.6	25.3	25.3	25.3
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	199.0	200.2	183.4	173.9	173.8	176.0	25.1	26.4	7.4	23.7	23.7	24.1
F 製 造 業	200.6	207.0	179.4	171.0	170.8	171.8	29.6	36.2	7.6	22.8	23.0	22.7
20 食 料 品 製 造 業	189.6	193.1	181.3	168.9	166.3	174.9	20.7	26.8	6.4	23.8	24.1	23.0
22 紡 織 業	179.0	209.8	177.7	177.5	183.8	177.3	1.5	26.0	0.4	22.2	22.7	22.1
35 機 械 製 造 業	206.2	211.2	184.0	177.8	178.0	176.9	28.4	33.2	7.1	23.6	23.9	22.1
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	200.0	204.2	177.8	167.9	168.4	165.6	32.1	35.8	12.2	22.4	22.5	22.1
E 建 設 業	179.5	180.1	175.3	172.6	172.5	173.4	6.9	7.6	1.9	22.8	22.8	22.4
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	198.4	200.9	188.3	177.0	176.3	179.7	21.4	24.6	8.6	25.2	25.1	25.4
F 製 造 業	193.5	186.9	179.3	169.7	170.0	168.6	23.8	26.9	10.7	22.7	22.8	22.4
20 食 料 品 製 造 業	183.8	189.9	162.4	170.8	175.5	154.4	13.0	14.4	8.0	22.9	23.5	22.1
22 紡 織 業	190.3	202.6	173.9	183.3	192.8	170.5	7.0	9.8	3.4	23.0	24.1	21.1
35 機 械 製 造 業	185.0	187.1	178.2	168.8	166.8	174.7	16.2	20.3	3.5	21.3	21.1	21.9
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	194.5	197.9	178.7	166.8	167.1	165.5	27.7	30.8	13.2	22.4	22.4	22.1
E 建 設 業	209.9	211.0	202.4	195.8	196.5	190.9	14.1	14.5	11.5	25.5	25.6	24.1

第3表 産業、常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者並びに産業別臨時及び日雇労働者の月間推計延人員（規模30人以上）（単位人）

産 業 名	前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月中労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
<b>全 常 用 勞 働 者</b>													
数	75,079	60,901	14,178	2,517	1,766	751	2,004	1,478	526	75,592	61,189	14,403	40,160
<b>D 鉱 業</b>	11,318	10,341	977	330	302	28	434	408	26	11,214	10,235	979	10,210
<b>F 製 造 業</b>	41,109	32,021	9,088	1,524	1,156	368	1,204	860	344	41,429	32,317	9,112	13,191
20 食料品製造業	2,643	1,902	741	41	27	14	63	36	27	2,621	1,893	728	3,785
22 紡 織 業	2,110	229	1,881	61	16	45	51	12	39	2,120	233	1,887	1,177
35 機 械 製 造 業	2,566	2,063	503	65	38	27	16	14	2	2,615	2,087	528	81
36 電気機械器具製造業	24,205	20,319	3,886	998	818	180	825	698	127	24,378	20,439	3,939	148
<b>G 卸 売 小 売 業</b>	4,572	3,328	1,244	126	67	59	76	35	41	4,622	3,360	1,262	2,969
<b>H 金 融 業</b>	2,620	1,706	914	20	12	8	4	—	4	2,636	1,714	922	—
<b>J 運輸通信及びその の公益事業</b>	15,460	13,505	1,955	517	229	288	286	171	115	15,691	13,563	2,128	13,790
<b>E 建 設 業</b>	6,415	5,601	814	285	247	38	515	453	62	6,185	5,395	790	56,612
<b>K88 医療及保健業</b>	2,434	964	1,470	37	8	29	55	22	33	2,416	950	1,466	939
<b>生 産 勞 働 者</b>													
<b>D 鉱 業</b>	9,727	9,065	662	309	293	16	420	400	20	9,616	8,958	658	—
<b>F 製 造 業</b>	30,000	23,078	6,922	1,115	829	286	989	714	275	30,126	23,193	6,933	—
20 食料品製造業	1,871	1,304	567	22	11	11	59	34	25	1,834	1,281	553	—
22 紡 織 業	1,860	89	1,771	46	1	45	43	7	36	1,863	83	1,780	—
35 機 械 製 造 業	1,952	1,600	352	58	32	26	13	—	13	1,997	1,619	378	—
36 電気機械器具製造業	16,840	14,253	2,588	741	622	119	647	574	73	16,935	14,301	2,634	—
<b>E 建 設 業</b>	4,076	3,557	519	217	190	27	450	406	44	3,843	3,341	502	—
<b>理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者</b>													
<b>D 鉱 業</b>	1,591	1,276	315	21	9	12	14	8	6	1,598	1,277	321	—
<b>F 製 造 業</b>	11,109	8,943	2,166	409	327	82	215	146	69	11,303	9,124	2,179	—
20 食料品製造業	772	598	174	19	16	3	4	2	2	787	612	175	—
22 紡 織 業	250	140	110	15	—	15	8	5	3	257	150	107	—
35 機 械 製 造 業	614	463	151	7	6	1	3	1	2	618	468	150	—
36 電気機械器具製造業	7,364	6,066	1,298	257	196	61	178	124	54	7,443	6,138	1,305	—
<b>E 建 設 業</b>	2,339	2,044	295	68	57	11	65	47	18	2,342	2,054	288	—



# 生産動態調査

……織……維……部……門……

(昭和32年7月度分)

(調査企画課商工調査係)

## 概況

### 織物

綿織物の生産は需要期を過ぎたので1月度に次いで低調であった。

絹織物は冬物生産を始めたので前月度より活潑となり約3%の生産増となった。

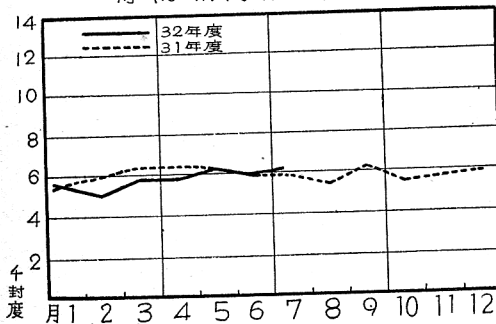
### メリヤス製品

本月度の生産は前月度より約8%増加、引渡高も約12%の増加となった。

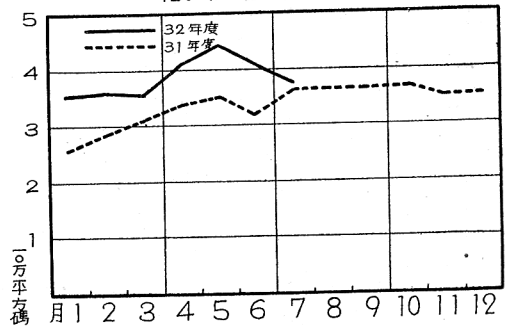
### 縫製品

作業服、既成服、中衣、肌着の生産が増加した。

特紡和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製
対象	7	19	319	11	3	14	10
操業	7	19	314	11	3	14	10
休止	—	—	5	—	—	—	—



② 生産および出荷状況

品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
		当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
計	封度	60,400	104	58,308	154	53,413	104
落綿糸	〃	43,700	99	42,000	162	45,700	104
特紡糸	〃	8,900	156	9,200	184	1,425	83
和紡糸	〃	7,800	99	7,108	104	6,288	112
織織計	平方碼	386,980	94	367,935	105	239,539	110
綿織物	〃	207,863	85	230,974	120	118,454	84
絹織物	〃	49,859	101	19,634	47	62,792	211
絹紡織物	〃	3,702	112	3,500	113	4,664	103
和紡織物	〃	92,052	114	82,612	101	48,091	124
特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
合成繊維織物	〃	33,504	101	31,215	98	5,538	170
メリヤス生地	封度	6,875	234	6,513	130	1,969	123
製品計	打	14,809	108	20,300	112	10,786	83
肌着	〃	2,731	112	2,890	121	476	75
外衣	〃	170	165	170	165	—	—
手袋	〃	8,987	99	15,229	106	6,611	69
靴下	〃	2,921	139	2,011	151	3,699	133
計	封度	1,704	70	2,733	80	2,906	82
漁網	〃	984	123	1,154	98	982	119
漁具糸	〃	720	44	1,579	70	1,924	71
学校服	着	757	88	676	66	1,188	107
作業服	〃	656	720	634	398	163	115
制服	〃	3,674	67	3,674	67	—	—
乳児および子供服	〃	1,136	43	2,593	109	1,866	83
既成服	〃	2,426	138	3,119	116	909	92
中衣・肌着	点	51,181	115	57,031	109	30,724	84
綿	封度	101,467	116	93,255	97	64,385	115

本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出工場は含まれない。

.....機.....械.....部.....門.....

(昭和32年7月度分)

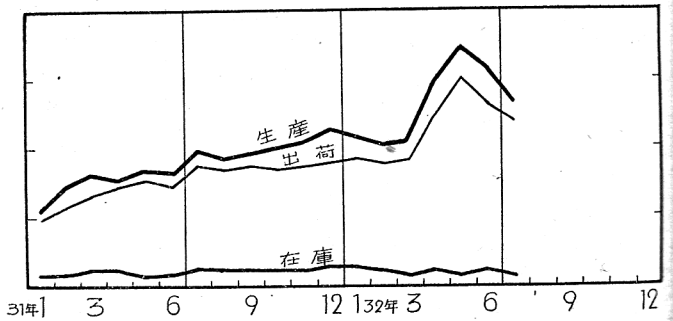
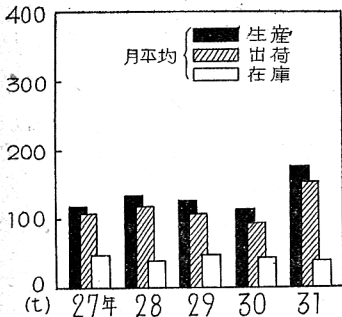
概 況

銑鉄鑄物の生産数量は276tと前月より約10%の減少があつたが、昨年同期に比べると生産出荷ともに約30%上廻つており依然活況を見せている。

銅合金鑄物は前月対比5%の減少であつたが依然50t台を突破しており好況である。

軽合金鑄物は前月より3%の増加であつた、なお前年同期4,609t対比は237%である。

銑鉄鑄物の推移

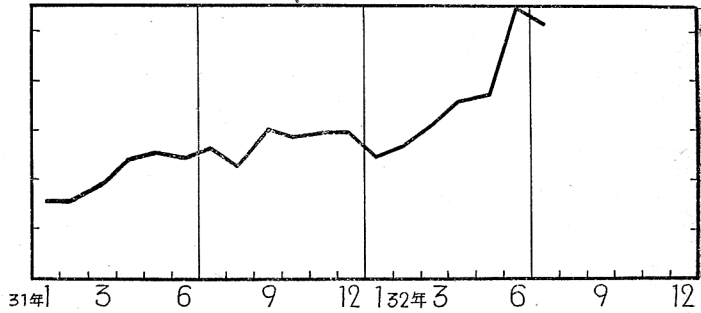
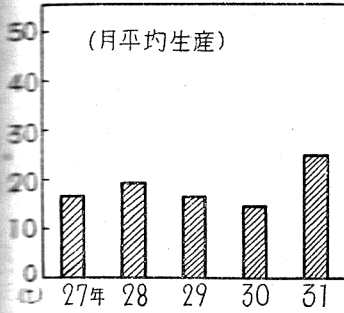


銑 鉄 鑄 物

製 品 名	生 産		出 荷		自己消費	月末在庫	対 象 工 場 数
	重量 kg	金 額 千円	重量 kg	金 額 千円	重量 kg	重量 kg	
総 数	276,206	23,154	240,605	21,242	37,817	21,669	生産前月対比
産 業 機 械 器 具 用	171,639	13,989	157,772	12,986	16,965	4,857	
繊 維 機 械 器 具 用	—	—	—	—	—	—	出荷前月対比
鉄 道 お よ び 車 輛 用	16,700	1,577	16,700	1,577	—	—	
電 気 お よ び 通 信 機 器 用	54,791	5,634	54,791	5,634	—	270	
農 機 器 お よ び 漁 具 用	—	—	—	—	—	—	在庫前月対比
港 湾 お よ び 船 舶 機 器 用	—	—	—	—	—	—	
そ の 他 の 機 械 器 具 用	18,203	1,042	5,741	517	12,552	—	
日 用 品	3,202	299	2,130	202	—	16,232	
鑄 型 お よ び 鑄 型 空 盤	8,200	287	—	—	8,200	—	
ロ ック	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	3,471	326	3,471	326	—	30	

(註) 上記銑鉄鑄物は普通鑄鉄鑄物であつて強靱鑄鉄鑄物は該当事業所がない。

### 銅合金鑄物の推移



### 銅合金鑄物

### 軽合金鑄物

製 品 名	生 産		
	重 量 (kg)	金 額 (千円)	
総 数	51,870	24,369	
産業機械器具用	7,237	4,236	
電気および通信機器用	21,232	10,757	
鉄道および車輛用	2,122	1,027	
港湾および船舶機器用	1,454	907	
その他の機械器具用	479	252	
輸受メタル	8,699	3,656	
電 継 手	—	—	
バルブコック	10,591	3,504	
建 築 用	—	—	
日 用 品	—	—	
そ の 他	56	30	
対象工場数	10	生産前月対比	95

製 品 名	生 産		
	重 量 (kg)	金 額 (千円)	
総 数	10,915	4,795	
産業機械器具用	493	260	
鉄道および車輛用	297	113	
自 動 車 用	5,541	2,030	
電気および通信機器用	4,349	2,274	
精密機器用	—	—	
港湾および船舶機器用	160	94	
農機具および漁具用	—	—	
その他の機械器具用	—	—	
日 用 品	—	—	
そ の 他	75	23	
対象工場数	6	生産前月対比	103

※本表は下記の定義にもとずいたものである。

鉄鋳物については在籍従業員10名以上銅合金鑄物および軽合金鑄物については在籍従業員5名以上の工場が調査の対象である。

……雑……貨……部……門……

(昭和32年7月度分)

概 況

革 靴

今月の生産は251足で前月より21%低下しており、前年同月に比べると69%減という不況ぶりである。

漆 器

今月の生産は1,454個で前月より7%とわずかではあるが上まわっている。

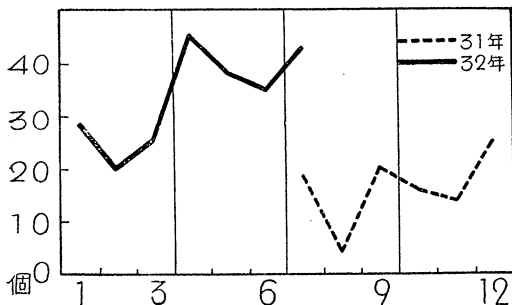
建築用コンクリートブロック

今月の生産は43,072個で20%と増加している。これは帳壁用ブロックが前月より3倍の増加になっているからである。

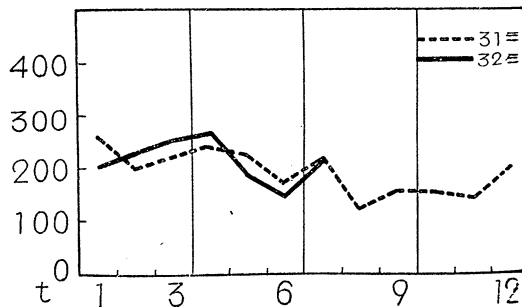
陶 磁 器

今月は対象工場が7工場ふえたので生産は210,306kgと前月より50%上昇している。

コンクリートブロック製品の推移



陶磁器製品の推移



業種	区分 製品名	単位	生産数量			出荷数量						月末在庫 数量	事業 所数 (操業)
			数量	前月 対比 (%)	金額 (千円)	国内向			輸出向				
						数量	前月 対比 (%)	金額 (千円)	数量	前月 対比 (%)	金額 (千円)		
革靴	総数	足	251	79	629	270	102	704	—	—	—	437	5(5)
	男子総革靴	〃	145	73	405	158	93	449	—	—	—	191	
	婦人	〃	106	104	224	112	138	255	—	—	—	246	
	その他靴	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
漆器 (木製)	総数	個	1,454	107	733	1,454	107	733	—	—	—	64	12(6)
	食器類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	容器類	〃	300	60	50	300	60	50	—	—	—	—	
	食卓子、膳盆類 その他	〃	1,154	143	683	1,154	143	683	—	—	—	62	
重要用 コンクリートブロック	総数	個	43,072	120	1,455	38,594	129	1,528	—	—	—	77,486	5(5)
	A種 { 基本型	〃	2,034	155	61	1,354	51	50	—	—	—	5,003	
	異型	〃	350	116	12	215	55	7	—	—	—	2,778	
	B種 { 基本型	〃	600	40	18	1,800	113	72	—	—	—	750	
	異型	〃	200	11	6	1,500	250	60	—	—	—	530	
	C種 { 基本型	〃	15,253	68	595	19,862	145	815	—	—	—	32,207	
	異型	〃	5,238	177	240	7,444	214	340	—	—	—	8,048	
帳壁用ブロック	〃	19,397	345	523	6,419	84	184	—	—	—	28,170		
陶磁器	総数	疋	210,306	154	22,942	202,111	153	22,880	—	—	—	147,711	19(19)
	特別高圧用碍子	〃	42,302	92	14,123	42,302	92	14,123	—	—	—	—	
	高圧用碍子	〃	2,592	101	2,224	2,592	100	2,224	—	—	—	—	
	低圧用碍子	〃	4,347	101	4,439	4,347	101	4,439	—	—	—	—	
	その他	〃	370	86	605	370	86	605	—	—	—	—	
	家庭用品	〃	133,655	213	1,273	128,060	223	1,237	—	—	—	144,511	
	衛生用品 その他	〃	26,400	137	270	23,800	121	244	—	—	—	3,000	
その他	〃	640	42	8	640	42	8	—	—	—	200		

※対象工場数、生産数量及び出荷数量において2以下の事業所については公表を禁じられているので、金属洋食器、赤れんが、がん具、がらす製品は除外した。

革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

## やさと 八郷町

### 1. 沿革

この町は、新治郡の北部筑波山麓に位し、常磐線石岡駅から西へ約10軒、東は東茨城郡の一部と石岡市、千代田村に、西南は筑波山を隔てて筑波郡へ、西は足尾加波山を隔てて真壁郡に、北は吾国、難台、愛宕山を境に西茨城郡へそれぞれ隣接しており、昔から山根盆地といわれ恋瀬園部の二流をはさんで風光明媚山紫水明の地である。昔この地方は恋瀬川の水運を利用して先住民が住んだらしく、崇神天皇時代常陸六国中の茨城国に属し、大化改新で茨城郡となり、鎌倉時代に筑波水田の豪族小田氏の勢力下に入った。戦国時代には、常北の豪族佐竹氏の支配下になって石岡の梶原政景が領有し、徳川時代の初期に佐竹氏が秋田に転封されて天領や大小名に分領となり、三百年を経て明治維新におよび、まず若森県、明治4年の廃藩置県で新治県の管理に改められ、明治8年に茨城県に編入されたのである。そして昭和30年1月1日には柿岡町を中心に、隣の林、園部、瓦会、恋瀬、葦穂、小幡、小桜村を合体として、その名もゆかしい八郷町が誕生し、実に面積153.30平方軒、人口33,078人(男16,178、女16,900)世帯数5,738を有することになり、県下第2位の大きな町にのし上り、進歩的な農業地帯を中心として町民の福祉増進と文化的な平和郷の建設のために力強い足跡を示している。

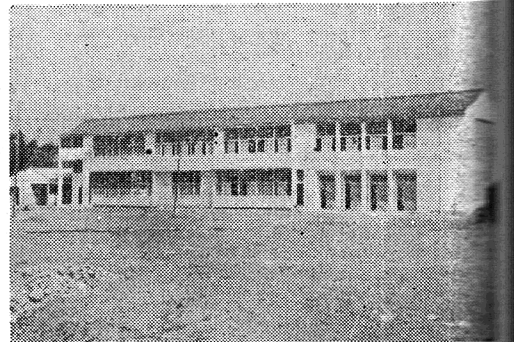
### 2. 産 業

まず農業面を見ると、農家数4,645戸、農家人口27,879人(男13,547、女14,332)耕地面積4,647町(田2,110、畑2,125、樹園地412)を有している。中でも大麦683町、小麦927町、なたね201町、大豆295町、さつまいも426町、たばこ340町、らつかせい164町、くり(結果樹)142町に達しているが、特にたばこは年間735,426疋、2億3千万円の収入をあげて、くりとともに農家収入の大きな役割を果たしている。この地方は、昔から経済更生業や農業経営の改善合理化が進んでおり、30年からは新農村建設計画指定町となって、総合的、科学的立場から耕地条件の改善整備、地力増進、災害防止、道路橋梁の整備、農業の機械化、畜産など農業各般の振興計画を進め、県内は無論、全国でも有数の実績を取っている。町としても農業協同組合、出荷組合の統合強化を計り、農産物や果樹類の共同出荷を行い、なし、くり、かきなど品質は優秀で神田市場でも好評を博している。また促成栽培も非常に普及しており、きゅうり、とまと、グリーンピースの生産も多く、最近では花卉類やしいたけの栽培も復活し、本年から相当出荷できるとの由。次に畜産面を見ると、乳牛488頭、役牛797頭、馬1,187頭、めん羊163頭、山羊682頭、豚758頭、兎997頭、にわとり21,928羽を有しているが(昭和32年冬期調査)8地区の酪農組合は他市町村に比べて非常に進んでおり、40石の牛乳を石岡地方へ搬出している。今後は足尾、小桜、園部地区を中心に優良種豚を貸付けて、豚の飼育を奨励して農家収入の増加を計る由。土地改良事業も昔から実施されており、このほど筑波山麓に貯水量百万石の温水ダムを建設中である。県内でも珍しい農事放送施設がすでに園部地区に完成し32年度は小桜、恋瀬地区に建設することになり、農業に関する広報活動を充実しようとしている。次に農機具の普及状況は、電動機808台、石油発動機685台、ハンドトラクター1台、動力耕うん機28台、動力脱穀機1,382台、足踏脱穀機1,315台、動力糶すり機575台、動力製粉機327台、動力精米機690台、動力精麦機71台、動力噴霧機11

台、人力噴霧機283台、マスター1台、動力製糶機72台、動力製糶機311台、足踏製糶機1,250台、畜力カルチベーター7台、畜力水田中耕除草機59台、畜力砕土機715台、動力いも糶飼料機6台、畑用播種機144台、畑用畜力すき418台、水田用畜力すき1,813台、家畜用いも磨砕機6台、家畜用いも切機44台に達し、農業の機械化は非常に進んでいる。また養蚕業も盛んで、養蚕農家は928戸で年間取高は32,902メに達しており、農家の現金収入増加に大きな役割を果たしている。次に商業面を見ると、法人および常用労働者を有する商店数19、従業者数130名で年間販売額1億8千万円を上廻り、常用労働者のいない商店数273、従業者数505名、年間販売額(6月中)が1,927万円余に達している。また工場数は56、従業員数201名、年間製造出荷額1億1,228万円余に達しているが、製材業や窯業および土石製造業、食料品製造業などの外に見るべきものはない。

### 3. 教育文化

ここには高校(分)1、中学校8、小学校14(分)1各種学校があつて、高校生徒57名(男37、女20)中学生2,253名(男1,114、女1,139)小学児童4,646名(男2,332、女2,323)各種学校生徒女72名に達しており、ぼう大な規模を有する各地区の学校施設の統合強化と整備拡充を努めている。特に石岡一高八郷分校を今年から3カ年計画のもとに町費から工費3,765万円を投じ突貫工事で建設に着手したが、その一部が完成して去る4月に開校運びとなった。青年婦人団体や農事研究団体の活動は、活発で、スポーツ、レクリエーション、指導者講習会、生活改善の推進などを行っているが、筑波山麓に年研修のキャンプ施設を120万円(半額国庫負担)を投じて建設中である。国民健康保険組合は、31年から河井、足尾地区を含めて全町加入を実現して、町民の生活の改善向上に大きな役割を果たすことだろう。消防団についても統合強化を計り、5カ年計画で可搬式ポンプを切換えを断行し自動車ポンプ1台、三輪車ポンプ2台、可搬式動力ポンプ35台、腕用ポンプ25台を有している。ここには名所旧蹟として、親鸞上人にゆかりの深い板敷大覚寺、徳川末期の詩人佐久良東雄の生家、山県大墓、瓦塚、立木観音で知られる峯山山西光寺、崇神天皇代の遺跡を発掘した丸山古墳などがある。また柿岡町には、世界的に知られる気象庁柿岡磁気観測所がある。



(写真は完成途上にある八郷分校)

# 村 の 横 顔

財政 昭和32年度一般会計歳入歳出当初予算額 (単位円)

歳入	町税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄附金	繰入金	繰越金	雑収入	町債	合計			
59,044,400	31,061,000	12,670	703,000	8,849,000	2,025,700	100	100	50,000	225,100	5,000,000	106,971,070				
歳出	議会費	役場費	警消防費	土木費	教育費	社会及び労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
1,894,000	24,345,300	5,540,980	7,621,900	45,977,700	1,824,900	1,678,480	7,911,271	325,340	102,300	3,274,200	5,202,670	1,000,000	106,971,070		

## 境 町

### 1. 沿革

この町は東北本線古河駅から東南へ約15軒、猿島郡の中央に位し、地勢は概ね平坦で南北に長く、東は猿島町、西は利根川を隔てて五霞村、千葉県関宿町、南は井井町、北は総和村および三和村に隣接している平坦な農地帯で猿島地方における行政、文化、産業、交通上の中心地となっている。昔この地方は下総国に属し江戸の水運も開けて経済、交通上の要地となり、古河公方の領地として100年間支配され、徳川時代に入つてからは松平、永井、本田、堀田の諸氏の所領下となつた。明治維新後は伊蒲県や古河県、千葉県に編入され、明治7年に茨城県の管轄となつてしたが、昭和30年3月16日には旧境町を中心に隣の静、長田、猿島、森戸が合体して、面積45.60平方町、人口23,665人(男11,329、女12,376)世帯数4,060を有する新しい町が発足した。豊かな農村地帯の生産力発展をスローガンとして力強い歩み続けている。

### 2. 産 業

まず農業面を見ると、農家数2,547戸、農家人口16,411人(男7,807、女8,611)耕地面積2,302町(田638町、畑1,664町)樹園地140町を有しているが、中でも大麦837町、小麦432町、ビール麦114町、さつまいも221町、たばこ10町に達している。従来の主穀経営方式から工芸、園芸、養蚕部門を取り入れた多角的経営に転換して農業所得の増加を計ろうとしている。特にたばこ、白菜、すいか、茶、かんぴょうなどの生産は非常に多く、将来は町営市場の開設を企図している。また最近ではぶどう、いちごの試験栽培に成功しており、今後の発展が注目される。次に畜産面を見ると、乳牛120頭、役牛1,168頭、馬10頭、めん羊63頭、山羊147頭、豚381頭、兎109羽、にわとり9,919羽を有し、酪農、養豚組合の育成強化を計っている。次に農機具の普及状況を見ると電動機493台、発電動機1,267台、ハンドトラクター2台、動力耕うん機2台、動力脱穀機1,565台、足踏脱穀機530台、動力糶り機354台、動力精粉機167台、動力精米機643台、動力噴霧機51台、動力噴霧機4台、人力噴霧機664台、ダス

ター3台、動力製籾機15台、動力製糶機164台、足踏製糶機1,320台、畜力カルチベーター496台、畜力水田中耕除草機5台、畜力碎土機18台、畑用播種機234台、畑用畜力すき601台、水田畜力すき350台、家畜用いも切機10台に達している。また土地改良事業も昔から進んでいるが、畑地かんがいの深井戸は中農以上の農家には殆ど普及しており、農業研究団体の活動も活発で先進地の視察や講習会などを開催している。次に商業面をみると、法人および常用労働者を有する商店数63、従業者数259名、年間販売額5億4,563万円余、常用労働者のいない商店数378、従業者数730名、月間販売額(6月中)3,674万円に達しており、食料品、衣服、身廻品、雑貨小売業が大部分を占めている。次に工業面を見ると、工場数63、従業者数282名、年間製造出荷額1億5,717万円であるが、酒、めん類製造業、製材業、家具桐材品製造業が大部分である。

### 3. 教育文化

ここには高校1、中学校3、小学校5(分3)各種学校1があつて、高校生徒633名(男453、女180)中学校生徒1,626名(男827、女799)小学校3,660名(男1,867、女1,793)各種学校生徒女24名を有して施設の拡充強化に努め、この地方における教育上の中心地ともなっている。青年婦人団体の活動も活発で、生活改善や料理、裁ほうなどの講習を行つており、特に冠婚葬祭の簡素化に非常に進み、町としても振袖5着、留袖2着を購入して一般に貸付したり、香奠返しや花輪の贈呈を廃止している。国民保険組合は31年から全町加入を実現し、直営診療所一カ所がある。また町営住宅は本年度20戸を建設中で、来年度も20戸を計画している。消防団も統合強化を計っているが、自動車ポンプは3台となり、他は可搬式動力ポンプに切換え中で、実績も非常に優秀で再三表彰されている。名所旧蹟としては、桜堤、丸山公園、釣り場、県内で唯一の貫取り橋などがある。本年6月には行政機構の簡素化のために支所を廃止したが、近代的な建業の庁舎を建坪230坪、総工費1,850万円で作成し、新しい名物となつている。

(新築成つた町庁舎の写真は30頁掲載)

財政 昭和32年度一般会計歳入歳出予算 (単位円)

歳入	町税	地方交付税	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	寄付金	繰越金	雑収入	合計					
34,437,100	16,000,000	16,600	328,600	3,666,100	947,400	840,100	3,000,000	611,100	59,847,000						
歳出	議会費	役場費	消防費	土木費	教育費	社会及び労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
1,321,300	16,017,900	4,847,800	4,995,300	11,066,600	5,691,400	1,519,400	4,478,152	190,300	190,100	51,600	912,000	7,176,500	1,426,700	59,847,000	